

平成29年度

第2回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

議 案 書

1. 日 時 平成29年10月27日（金） 午後3時30分から

2. 場 所 赤穂市役所6階大会議室

平成29年度

第2回 相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 顧問あいさつ

4. 協議事項

協議第1号 国道250号・高取峠トンネルの事業化及び

県道竜泉那波線の整備促進に係る要望書の提出について

協議第2号 啓発ポスターの作成について

5. その他

6. 副会長あいさつ

7. 閉会

協議第 1 号

国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び 県道竜泉那波線の整備促進に係る要望書の提出について

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会の設置目的である国道 250 号・高取峠トンネルの事業化及び県道竜泉那波線の整備促進を図るため、事業主体である兵庫県に対して、下記のとおり要望活動を実施する。

平成 29 年 10 月 27 日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明 石 元 秀

記

- 1 要望相手先 兵庫県県土整備部長 糟谷昌俊氏
兵庫県西播磨県民局長 東元良宏氏
- 2 要 望 日 平成 29 年 12 月 21 日
- 3 要 望 場 所 兵庫県庁及び西播磨県民局

要望書（案）

赤穂市と相生市を繋ぐ幹線道路である国道250号は、兵庫県地域防災計画において緊急輸送路に位置付けられており、西播磨地域唯一の災害拠点病院である赤穂市民病院へ連絡する防災上大変重要な道路である。

しかしながら、国道250号は両市境にある高取峠を通るルートとなっていることから、見通しが悪くきついカーブの連続する危険な道路となっている。過去5カ年平均で両市併せて46件もの交通事故が発生しており、ひとたび重大事故が発生すれば長時間に渡り通行止めを引き起こすこととなる。

また、赤穂市民病院は、二次救急医療機関にも指定されており、西播磨地域の中核的な病院としての役割を担っている。相生方面からのアクセス性向上は、赤穂市のみならず、西播磨地域の医療ネットワークの強化の面からも、重要な課題となっている。

高取峠トンネルは、これらの問題解決に非常に有効な社会基盤であるとともに、両市が推進する観光振興など地方創生の取組においても不可欠な道路である。

両市を繋ぐ安全・安心な道路を確保し、地域連携によるまちづくりに資するため、高取峠トンネルの事業化について強く要望する。

また、相生市を取り巻く広域的な幹線道路は、山陽自動車道をはじめ、国道2号や県道姫路上郡線といった東西方向が主であり、南北方向は極めて弱い状態である。

特に中心市街地の道路網は、国道2号から赤穂方面へ抜ける南北交通が1路線に集中しており、それに伴う交通渋滞や交通事故の増加、騒音・排気ガスなど公害発生等の問題が生じている。

このような状況の中、兵庫県により国道2号と国道250号を結ぶ南北交通軸として重要な路線である県道竜泉那波線が事業着手され、平成14年末には第1期工事区間が供用開始され、平成28年度には第2期工事区間の都市計画道路の変更が行われ、事業認定の手続きが進められているところである。

引き続き、両市民が待望する竜泉那波線全線の早期完成について、強く要望する。

要望事項

一、高取峠トンネルの事業化

(西播磨地域社会基盤整備プログラムへの位置付け)

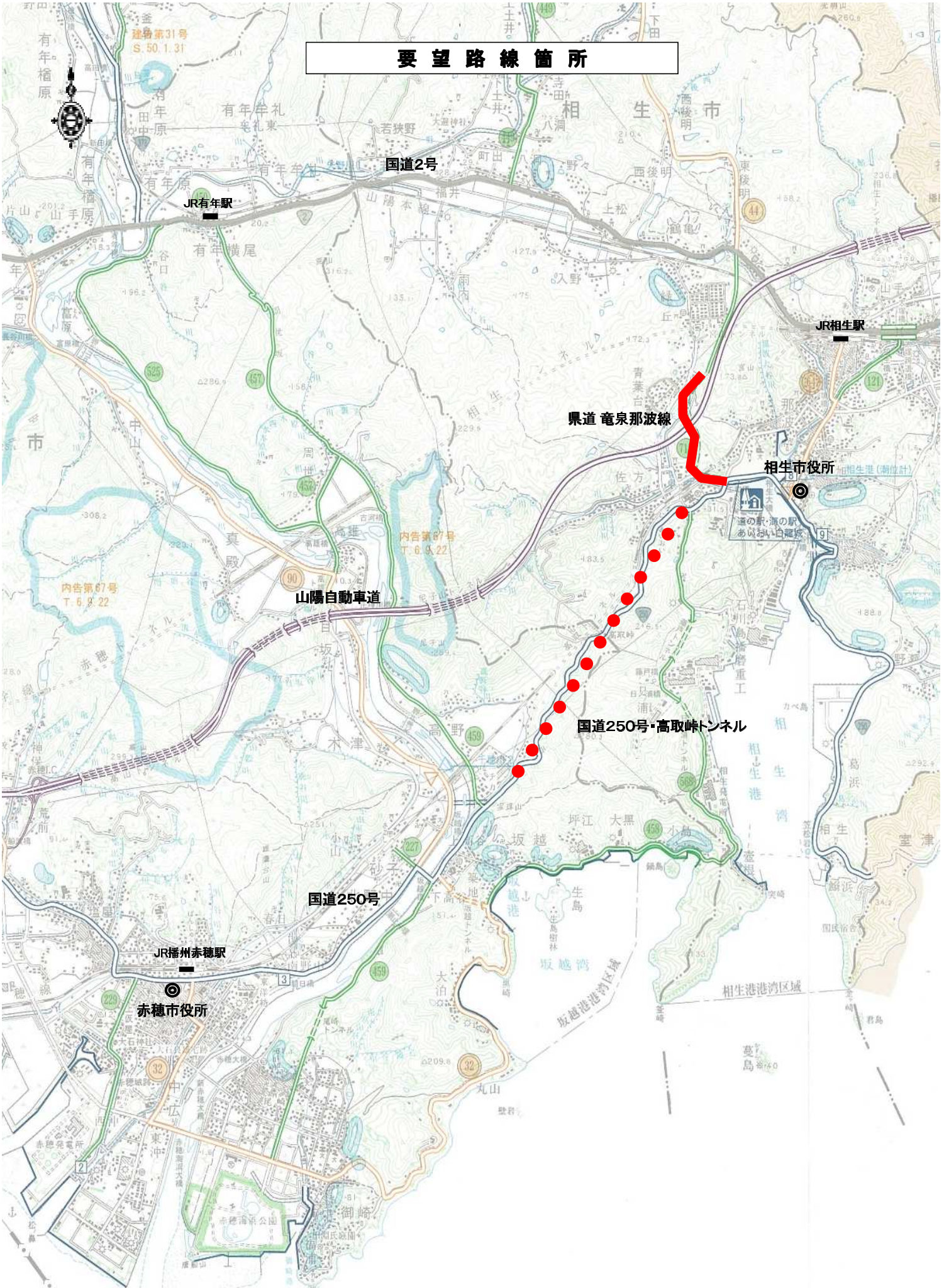
一、県道竜泉那波線の早期事業完了

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会

会 長 赤穂市長 明 石 元 秀 印

副会長 相生市長 谷 口 芳 紀 印

要望路線箇所



協議第2号

啓発ポスターの作成について

県道竜泉那波線の早期事業完了、高取峠トンネル事業化に向けた啓発ポスター（案）について、別添のとおり協議したい。

平成29年10月27日

相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
会長 赤穂市長 明石元秀

つなごう！ 相生 赤穂

竜泉那波線早期事業完了

高取峠トンネル実現

国道2号

国道250号

現在工事中

兵庫県マスコット
はぼたん

竜泉那波線

高取峠

相生市
大ちゃん

赤穂市
陣たくん

力を合わせて
頑張りよう

事業化を
目指そう！

- 事業効果
- ・安全安心な道路
 - ・市街地の渋滞回避
 - ・救急搬送の強化

僕らのくらしは力を合わせれば
もっと豊かになる！